

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 5月24日更新

事務事業名		老人医療費給付事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	可徳精至
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	高齢者支援課	担当者名	中嶋美智代
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	高齢者保険班	(内線)	2142
予算科目	会計一般	款3	項1	目12	事業連番10386	法令根拠	老人保健法		成果優先度評価結果 : ⑩ コスト削減優先度評価結果 : ⑥
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)					

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	老人医療受給者の医療費を国保連合会、社会保険診療報酬支払基金へ支払う事業である。老人医療制度は、昭和58年2月に老人保健法が施行され現在まで事業を行っているが、平成20年4月より、75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度に移行している。しかし、平成20年3月診療分までの再審査等の支払いがあるため、22年度までで特別会計を廃止し、23年度からは、一般会計にて処理する。
【業務の流れ】	医療費の支払い(毎月)
【主な予算費目】	老人保健特別会計(負担金補助及び交付金、役務費、委託料、繰出金、予備費)
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	患者負担(一部負担金)の割合が2割から3割に改正されたことにより、負担増となっている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	老人医療制度は平成20年4月より廃止となったため、21年度の医療費の支払いは、再審査等で請求があったものに限られることから、事業費は4,790,000円であった。平成22年度までは特別会計で予算計上予定ですが、23年度は一般会計で計上予定。	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:審査支払件数	イ:給付額	老人保健特別会計の廃止により、その後の事務処理を一般会計において行うが、診療報酬等の請求権が時効を過ぎた為医療給付費の減。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	老人医療受給者	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
		→ア:老人医療受給者数
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	適切な医療が受けられる。	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
		→ア:1人あたり医療給付額
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
意図の適切な医療が受けられることから、1人当たりの医療給付額とした。22年度は対象者が減少と思われるので、前年度より金額を下げた。		全体計画 ~ 年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込	
① 活動指標	ア 件		14	4	0	0	0	0	0	0	
	イ 千円		2,779	4,398	0	0	0	0	0	0	
	② 対象指標	ア 人	14	4	0	0	0	0	0	0	
	イ										
③ 成果指標	ア 円		198,500	1,099,500	0	0	0	0	0	0	
	イ										
	イ										
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	985		2					
		都道府県支出金	千円			2					
		地方債	千円								
		その他	千円	4,264				8	50	50	50
		繰入金	千円			2,537	16	3			
	(A)事業費計	千円	5,249	0	2,541	16	11	50	50	50	
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	2,524	14	4	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	2	3	3	3	3
		延べ業務時間	時間	258	270	270	210	27	27	27	27
	(B)人件費計	千円	1,026	1,112	1,112	847	111	111	111	111	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	6,275	1,112	3,653	863	122	161	161	161	

事務事業名	老人医療費給付事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 【前年度内容】制度が廃止されていることから、再審査等の請求が少なかったため。
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 【前年度内容】制度が廃止されていることから、再審査等の請求が少ないと思われるため。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】平成20年度より、老人医療事業が廃止されたため
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 【前年度内容】平成20年度より、後期高齢者医療制度が発足と同時に、担当課も高齢者支援課で担当するようになった。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】老人医療制度に代わって、全ての75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が始まったため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 【前年度内容】老人医療制度に代わって、全ての75歳以上を対象とした後期高齢者医療制度が始まったため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 【前年度内容】老人保健法により実施しているため。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 【前年度内容】医療費の支払いなので、行政が行うのは適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

【前年度内容】平成21年度に医療費を4,790,000円支払った。

4 今後の方向性(事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					